平成24年度 決算説明書/事務事業評価シート

課名 選挙管理委員会事務局

予算	款	項	目	決算書	ŧ
J' JT	2	4	2	146	頁

	目	名	
選挙啓発費			

事業名称 選挙啓発事業

1. 概要

目的	政治・選挙に対する意識向上	対象	市民
	〇選挙啓発事業・・・啓発活動の実施 ・明るい選挙推進協議会の開催 ・市内小中高校生を対象にした啓発ポスターの展示会や表彰(県入賞6点、市入賞18点) ・広報誌の作成(全戸配布) ・成人式等での模擬投票		
事業概要	・12月16日執行 衆議院議員総選挙の投票率は、小選挙区選挙 63.88%、比例代表選挙 63.86% ※県内 市 7位 県内市町村 9位(県内市平均62.01%、県内市町村平均62.17%)	であっ	<i>t</i> =.

臨/経	細事業名称	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額	財源内訳				評価
Mary 42				(千円)	(千円)	国・県支出金	市債	その他	一般	рт іш
経常	選挙啓発事業	①2回、③16,000部、 ④1回	需用費	360	269				269	3
		<u> </u> 計		360	269	0	0	0	269	

2. 指標設定

	戓	指煙を	標名 投票率		目		指標の設定理由				
	果	10.194.1			標	_	有権者の投票		有権者の投票参加と普段から政治と選挙に関心をもってもらうことを目標とす		
	指標	数值	数値 80% 年 度				る				
	活動	指標	а	啓発ポスターの募集	Ę	o 模擬	疑投票の実施	С	研修会の実施	d	選挙犯罪件数
才	指標	数值	目標	300	目	標	3	目標	3	目標	0

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位 H 2 2		H 2	3	H 2 4		
投票率	%	67.2	%	72.2	%	63.9	%
投 条件	70	84.0	%	90.3	%	79.8	%

4. 課題と対応

課題			
若年層を対象とした啓発や投票制度の周知、投票参加の呼びかけな ど、毎年実施していくことが重要			
対応 (改善点等)			
現状維持			

活動指標名		単位	H 2 2		H 2 3		H 2 4	
а	啓発ポス	人	264	人	467	人	453	人
а	ターの募集		88.0	%	155.6	%	151.0	%
b	模擬投票	□	1		1		1	
b	の実施		33.3	%	33.3	%	33.3	%
	c 研修会の 実施	修会の	0		2		0	
C		回	0.0	%	66.6	%	0.0	%
d	選挙犯罪	件	0	件	1	件	0	件
u	件数		100	%	0.0	%	100.0	%

5. 事業費・・・H22~H24 (決算額)、H25 (予算現額)

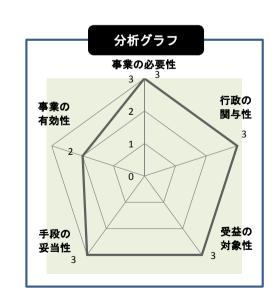
決算額(千円)		H22	H23	H24	H25
<i></i>	· 异 ((十一)	236	240	269	355
	うち経常経費	236	240	269	355
	国 費				
財	県 費				
源	市債				
内訳	その他				
九	一般財源	236	240	269	355
	うち経常	236	240	269	355
事	業費に係る人件費	219	215	215	218
事	事業費に係る人役	0.05	0.05	0.05	0.05

6. H26年度予算の方向性 方向性

	前年並
	理由
に反同 重要:	とは有権者の意思を政治 快させることのできる最も かつ基本的な機会で、そ 会を棄権することがないよ きすることは重要である

7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の 必要性	必要性の再確認	3	公職選挙法第6条による
② 行政の 関与性	責任領域の精査	3	公職選挙法第6条による
③ 受益の 対象性	事業対象の確認	3	日本国民(参政権の保障)
④ 手段の 妥当性	活動指標の分析	3	投票制度の周知や投票の呼びかけ
⑤ 事業の 有効性	成果指標の判断	2	指標の達成に向け、引き続き啓発事 業を実施していく



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

- : I toli in impressional im (pressional im)								
事業の方向性	評価内容							
継続	引き続き投票率の向上に努めること。							